



**放射線科 (医療助手) 二宮 佳暉** にのみや よしき

① 出身地…米子市  
② 「なんでも自慢」を教えてください。  
③ どこでも眠れます。  
④ 趣味は何ですか？  
⑤ 好きなYouTubeを見ることです。  
⑥ 好きな食べ物は「おかき」です。  
⑦ 好きなパンは「メロンパン」です。  
⑧ 日南病院での目標や頑張りたいことは何ですか？  
⑨ 安心して検査を受けていただけるよう、信頼できる人になりたいです。  
⑩ ひと言お願いします。

■ まだ分からないことだらけですが、皆さまの医療に貢献できるように精進します。よろしくお願いします。



**リハビリテーション科 (言語聴覚士) 足立 奏真** あだち そうま

① 出身地…米子市  
② 「なんでも自慢」を教えてください。  
③ 髪が多いことです。  
④ 趣味は何ですか？  
⑤ ドライブ、音楽鑑賞  
⑥ 好きな○○ (例…言葉、スポーツなど)  
⑦ 好きなパンは「メロンパン」です。  
⑧ 日南病院での目標や頑張りたいことは何ですか？  
⑨ 元気な姿で患者さんと関わることです。  
⑩ ひと言お願いします。

■ 日南のことを少しずつ知り、地域医療に貢献できるよう精一杯頑張ります。



**【第2弾】新入職員紹介!!**

4月1日より、新たに加わった2人の職員を紹介します。日南は初めての2人ですが、それぞれの担当部署で頑張っています！

**【療養病棟看護師長 青戸 康恵】** あおと やすえ

療養病棟は4月から全床医療病床になり、変化しつつある病棟です。変化ある中、患者さんが過ごしやすく、スタッフも働きやすいように病棟環境を整えていきたいです。

また、患者さんにとって喜ばれる看護・介護が提供できるよう、コミュニケーションを取りながらスタッフの強みを活かして関われる病棟にしたいです。

**【一般病棟看護師長 石川 早苗】** いしかわ さなえ

4月から一般病棟の師長として勤務している石川です。病気の治療だけでなく、退院後も地域の皆さまが安心した生活を送ることができるよう、退院後を見据えた看護の提供とともに、一人一人の患者さんが自分らしく過ごしていただけのように、心のこもった看護の提供を目指したいと思います。どうぞよろしく申し上げます。

**【外来看護師長 久代 典穂】** くしろ のりほ

患者さん、ご家族が安心して受診できるよう寄り添い、思いに耳を傾け、その人らしさを尊重した看護が提供できるよう、支援していきます。

また、スタッフの得意分野を活かした看護実践に取り組み、個々のモチベーションを高め、楽しくイキイキと働き続けられる職場づくりを目指します。



**《新》看護師長を紹介します！**

令和6年度は3人の看護師長が誕生し、それぞれの思いや目標を聞きました。

**土曜日 胃がん検診のお知らせ**

平日は忙しくて、休みにくい・・・。

令和6年度も4月から胃がん検診を実施しています。今年度は、**7月6日土曜日 (午前)**に胃がん検診を行います。平日、忙しくて受けられないという方は、ぜひご検討ください！

※人数に限りがありますので、お早めにお申し込みください。

実施期間	検診内容・検診日・対象年齢	
	胃カメラ	ピロリ菌抗体検査 (採血)
4月～翌年3月 火曜日 (午前) 水曜日 (午前)	40歳以上	20～65歳 ・50歳以上の方は胃がん検診も受けていただく必要があります。 ・過去にピロリ菌の検査を受けた方、除菌治療をされた方は対象外です。
7月6日 土曜日 (午前)		

検診費用は無料です。  
※精密検査等を行った場合には別途費用が必要となります。

お問い合わせは、電話：0859-82-1235まで

令和6年4月1日～		月	火	水	木	金
内科	一診 (予約制)	澤田	谷口	上平	谷口	上平
	二診 (予約制)	浜田	高見	吉田	浜田	高見
	三診 (予約なし)	吉田	上平	大塚	澤田(第1.3.5週) 鳥大(第2.4週)	谷口
	専門外来 (予約制)	浜田 (ペースメーカー チェック)			高見 (PM:禁煙外来) (PM:物忘れ外来)	門脇 (糖尿病内科)
外科	午前	平岡	菅村	平岡	菅村	平岡
	午後	菅村	菅村	鳥大	菅村	菅村
整形外科 (予約優先)					鳥大	
小児科		鳥大			鳥大	
耳鼻咽喉科				鳥大		
眼科 (予約優先)				鳥大		鳥大
皮膚科			池原			
内視鏡・エコー (予約制)			吉田	澤田		

第3火曜(PM)は小児循環器

**令和6年度 健康教室のお知らせ (糖尿病教室)**

今年度も健康教室を行います。健康や身体のことについて職員がお伝えします。

- ・1回目：6月中を予定
- ・会場：健康福祉センター研修室
- ・参加費：無料
- ・予約：不要
- ・個別相談お受けします。

詳細は決まり次第、ちゃんねる日南、防災無線等でお知らせいたしますので、皆さんお誘い合わせの上、ご参加ください。

**巡回診療は6月19日 (水) 14時～16時 つるぎ会館 (上萩山) 診察のない方も、ぜひお越しください。**

- ・診療 9:00～12:00(開扉7:30、受付8:00～11:30)
- ・整形外科、眼科は**予約優先**になっていますので、当日受診希望の方は、来院前に電話をお願いします。
- ・せき、鼻水、のどの痛み、発熱、嘔吐などがある方は**必ず事前に電話でご相談ください。**
- ・新型コロナウイルス感染症対策のため病棟への面会は一部緩和となっていますが、**前日までに予約が必要**です。オンライン面会などの方法もありますので、ご希望の方は病院看護師に電話でご相談ください。

# 能登半島地震

# 看護師派遣支援

# 院内報告会

令和6年3月13日（水）、能登半島地震の看護師派遣支援から帰還した梅原看護師と森澤主任看護師が報告会を行いました。被災地での病院業務の様子、仕事をしながら被災地で実際に生活をしたことで分かったこと、そして感じたことの報告がありました。

## 能登半島地震・災害支援について

一般病棟 看護師 梅原 秀人  
うめはら ひでと



1月27日から2月1日まで、市立輪島病院で病棟勤務を行いました。1月27日は12時に金沢駅に集合し、バスで県庁へ行き、各病院に向けてタクシード移動しました。

高速道路には継ぎ目に段差があり、車がジャンプするほどで、滑落している場所もあり応急処置で脇道が作られていました。

携帯の電波塔は、通信会社の移動式のものがあり、両に設置してありました。

輪島市に近づくにつれ倒壊家屋が多くなり、約2時間で市立輪島病院に到着するとオリエンテーションを受け、勤務する部署の希望を募り一般病棟・感染病棟・救急外来に分かれました。夜勤もあり、その日から夜勤に入るスタッフもありました。

私は、感染病棟を希望し勤務しました。病棟業務はカルテは見ずにケアに重点を置き、おしめ交換から爪切り、清拭は使い捨ておしぼりを電子レンジで温めて使用。洗髪などのお湯は、支給された水をポットで沸かして使用。排水がでかかないので、使用したお湯はおしめやパットに吸わせて廃棄しました。

精神的ケアにも着目し、できる限りベッドサイドへ行き話をしていました。認知症がありそうな方でも、地震当日のことは鮮明に覚えておられました。

支援ナースは、鹿児島から北海道と全国におよび、合計22名の参加がありました。女性スタッフは透析室で寝泊まりし、男性スタッフは3階の病室で寝泊まりしました。入浴はできないため、体拭きシート（持参）、洗髪用シート（持参）を使用しました。排水がでかかないため、



スタッフ同士で確認作業

## 能登半島地震における

### 被災医療機関支援の活動報告

療養病棟 主任看護師 森澤 京  
もりさわみやこ



元旦の発災後8週間が経過した、市立輪島病院に支援へ行きました。電気や物流が回復し始めてはいましたが、下水処理ができないため、入浴や洗濯、トイレは以前と同じようにはいかず日常生活に大きな影響を及ぼしている状況でした。

市立輪島病院



朝市通り



発災直後は「病院＝安全で物がある」という認識で傷病者以外の多くの人が集まってしまい、普段では考えられない事態も起こったと聞き、災害時のパニックの大きさと病院職員の苦闘を想像し、その尽力に感服しました。

病院職員は、時間的に自衛隊の入浴支援を受け

歯磨きのうがいした水は吸水パット（持参）に吸わせるようにしていました。水道は出ましたが、排水（下水）が完全には回復しておらず、流しは使用不可。手洗いは、循環式のタンクで行い、トイレは仮設、病棟はスタッフ用の簡易トイレを使用。



循環式の手洗いタンク



簡易トイレ

入浴は、泊りで勤務しているスタッフが使用する、簡易シャワーがあり。支援ナースは使用できませんでした。ただ、頭が洗えないのが我慢できずに、支給された水（2Lペットボトル）をもって、土手に行き頭を洗ったスタッフがいました。私も石鹸とペットボトルをもって外へ行き、病棟の隅で足を2回洗いました。

入院患者さんの食事は、レトルト食品がメインで、支援ナースは朝・パン、昼・カップラーメン、夕・アルファ米2個とウィダーインゼリー1個が支給されました。



入院患者さんのメニュー

寝袋持参とありましたが、寝具を貸していただきました。他の病院では寝袋が必要だったと聞いています。電気は通っており、暖房も出ていたため寒さは感じませんでした。

近くのスーパーが時短営業（11時から16時…月火休み）しており、1月31日の午前中にスーパーに行くこと、オープン前から20人程度並んでおられ、ほとんどの人がお弁当を見ていました。病院近くにコンビニがあり、最終日にトラックが来て荷物の搬送をしていました。

るのが難しく、洗濯を兼ねて家族連れで金沢市内に1日ばかりで出かけていると聞きました。職員の皆さんが1週間程の連休が取れて、被災した家財の片付けや休息ができた事も支援の成果だと思います。



支援に来た高知市の移動式仮設トイレ

派遣時は、状態が安定している人が殆どでした。避難生活が長期化し「高塩分、炭水化物に偏る食生活」「運動不足」で生活習慣病の増悪が目立ちここにも災害による影響を強く受けていることが印象深く、特に食事の重要性を改めて感じました。また生活の制限が多い事による高ストレスからか薬剤過剰摂取での入院もみられました。個々の生活力の差を感じ始める時期でもあり、ハード面（交通網、設備など）の復旧についていけない生活弱者への継続支援も並行する必要性を感じました。

【感じたこと】  
今は、何気ない「平穏な日常」のありがたさを

病棟スタッフからの情報で、地震が発生して3時間程度で自衛隊が来てくれたそうです。輪島病院の医師が一人、病院からは離れた実家におられ、地震発生後すぐに病院に向かおうと空港に行き、事情を説明して自衛隊のヘリに同乗させてもらい、病院に到着したそうです。その医師が転院の手続きをすべて行い、自衛隊が金沢市に搬送したそうです。

地震発生後、避難者に病院を開放し布団を配り廊下で避難してもらっていたようですが、一部が暴徒化し売店のシャッターを壊し、商品を盗っていったそうです。スタッフの白衣もなくなり、普段なら施錠してある部屋も地震の影響で解錠され、至る所に侵入されたとのこと。やむなく避難者にはお帰りのお願いをいただきました。

地域でも治安が悪くなり、常にパトカーが地内を巡回し、ヘリコプターも毎日飛んでいました。余震も震度3以上の揺れが毎日ある状況でした。



売店の壊れたシャッター

支援に行った時の市立輪島病院の入院患者は、17人程度（一般病棟と感染病棟を合わせて）で、本来は175人の総合病院ですがほとんど機能していませんでした。

依然として復興には程遠く、病院では看護師不足が深刻化している中で、支援ナースが現地に行くことで被災者でもあるスタッフが休みを取ることができ、不足している人材の補てんとなっています。引き続き支援を行っていきたく強く感じました。

実感しています。  
・地震や近年大型化している風水害の自然災害はいつ自分たちの身に降りかかるかわかりません。日頃から物心両面での備えが大切だと実感しました。  
・能登の人たちは「郷土愛」が強く地元を大切に思う気持ちが強いという印象です。  
この地域の自治体病院の存続の必要性を感じ、持続可能な措置を講じて欲しい。  
・地元の人々のイチ押しは「和倉温泉」でした。復興した折には必ず訪れたいと思います。被災地を離れても、復興などの状況を見守り続けます。

今回は「自治体病院協議会」「日本赤十字社」「国立病院機構」の3つの団体による協働で緊張して赴きましたが、どの看護師も明るく親切で協力的かつ積極的でした。そのような人達と協働する機会を得たことは大変貴重な経験でした。

最後に、派遣に際して当院での病棟の勤務調整や出前講座の講師交代など、全面的に協力体制を整え送り出してくれたことが、本当に心強くありがたく思いました。

一緒に働いた派遣看護師

